

(仮称)総合福祉センター構想を問う

島田 榮一 議員



Q 中央公民館がなくなって約1年が経つ。生涯学習など、町民の不満はないか。ないとするならば、公民館に代わる施設より、高齢化社会に適応した介護施設などに重点を置くべきではないか。

A 町長 中央公民館で活動していたサークルなどについては、文化センター、勤労者センター、J

Q Aたまむら支所などに分散して活動していただいたが、特に不満や支障は出ていない。(仮称)総合福祉センターについては、建設検討委員会で十分検討する。

A 町長 現在、伊勢崎高齢者保健福祉圏域として、県により、玉村町で50床の特別養護老人ホームの公募が行われている。町としても、民間活力を活か

Q した法人に協力したい。烏川左岸の新玉村ゴルフ場南東部分が、約30メートルにわたって崩落している。復旧工事はどうなっているか。

A 町長 この場所は、昨年の台風9号の襲来により、烏川が増水し、崩落したものである。国土交通省高崎河川国道事務所にお問い合わせをしたところ、すでに発注済みであり、今年度中に施工完成とのことである。



烏川左岸の崩落場所

住基カードの無料化とe-Tax普及推進を

浅見 たけし 議員

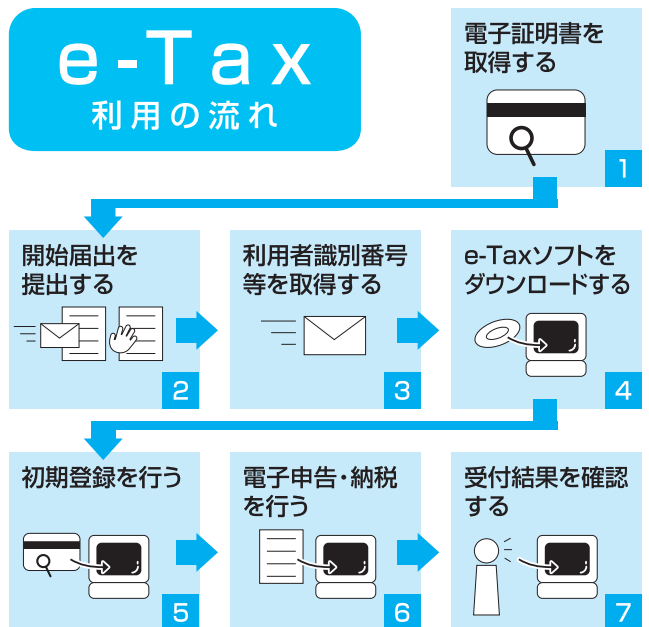


Q 総務省による住基カードの普及促進のため、特別交付税措置の拡大施策が行われた。県下9市町村では、平成20年4月1日から3年間の期限付きで、無料化を実施している。顔写真付き身分証明書を持たない高齢者に対する行政サービスの目的から、当町も同じ期限内で住基カードの無料化を検討できないか。

A 町長 無料化に向けた検討を進める。e-Tax(国税電子申告納税システム)は、所得税の確定申告を、本人の電子署名と電子証明書を付して期限までに送信した場合、所得税額から5000円控除できるシステムである。普及推進を進めていただきたい。

Q 国民健康保険の保養施設であるヘルシーパル赤城・サンレイク草木・草津グリーンパークパレスを利用する際には、一人2500円の利用券が交付されている。しかし、後期高齢者医療制度に移行した75歳以上の人は、この対象から外れてしまう。これらの人も、補助が受けられないようにできないのか。

A 町長 高齢者が多く利用する施設のため、前向きに検討したい。



玉村町経営改革実施計画の 取り組み状況を問う

齊藤 嘉和 議員



Q 職員の定員
管理適正化

総務課長 平成
19年度は、愛町
箱が49件、広聴
用はがきが84件
あった。

A 町長 平成19年度
は、メールが37件あ
った。合併や保育所に関す
るものが多かった。匿名が
多く、回答できないでいる。

Q 町長メール、愛町箱
広聴用はがきの提案
状況は。

A 総務課長 平成19
年3月に、公募に
関する要綱を策定した。現
在、付属機関は39委員会あ
る。公募による委員は現在

Q 公募委員の参画拡大
の状況は。

A 総務課長 平成17
年から22年までに、
18人削減する計画である。
平成20年4月現在は251
人で、22年244人の達成
は可能である。

Q 計画に沿った定員管理削
減の実施は進んでいるか。

A 町長 道の駅と直売
所を併設したものな
か。

Q 地元農産物加工所の
建設についてはどう
か。

A 総務課長 現在、39
委員会に585人の
委員がいるが、そのうち女
性は136人(23・2%)で
ある。30%を目安に取り組
みたい。

Q 女性委員の参画拡大
についてはどうか。

A 町長 アクセス道路
の整備は必要だと認
識している。来年度から、
町道220号線の拡幅など
を検討していきたい。



役場正面玄関に設置されている愛町箱

ども考えられるが、場所も
含め、たまむら直売所設置
懇談会で検討する。

歳入増に関する施策を 問う

原 幹雄 議員



Q 町債には、
地方交付
税の算定に算入
されるものがあ
る。町債を減ら
す。

A 町長 小口資金制度
や利子補給制度な
ど、金融面の支援を行って
いる。入札は町内企業優先
などの施策を行
っている。

Q 町内企業の発展は歳
入増に直結する。ど
のような支援策を実施して
いるか。

Q 財源の使途自由度を
示す経常収支比率が
悪化している。改善策を考
えているか。

A 町長 町債は、積極
的に利用するように
している。玉中の建設費も、
地方交付税が見込まれる部
分は起債対応している。平
成18年度決算では、町債残
高のうち90%以上が地方交
付税の対象になっている。

Q 町長 歳出項目がハ
ードからソフトに移
ってきたことが要因と考え
ている。効率的な予算執行
に努め、経費の削減を地道
に努めていきたい。

Q 東毛広域幹線道路の
開通を見据え、東部
工業団地とのアクセス道路
の整備を急げ。

A 町長 アクセス道路
の整備は必要だと認
識している。来年度から、
町道220号線の拡幅など
を検討していきたい。

A 町長 歳出項目がハ
ードからソフトに移
ってきたことが要因と考え
ている。効率的な予算執行
に努め、経費の削減を地道
に努めていきたい。



東毛広域幹線道路平面図 (地元説明会資料)